

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「爆乳の黒ギャルに懷かれてマジで迷惑なんですが」

テーマ:「迷惑極まりない爆乳黒ギャルなのに、とってもピュアな美少女」

キャラクター

60

ストーリー

40

テーマ(設定)

55

文章力

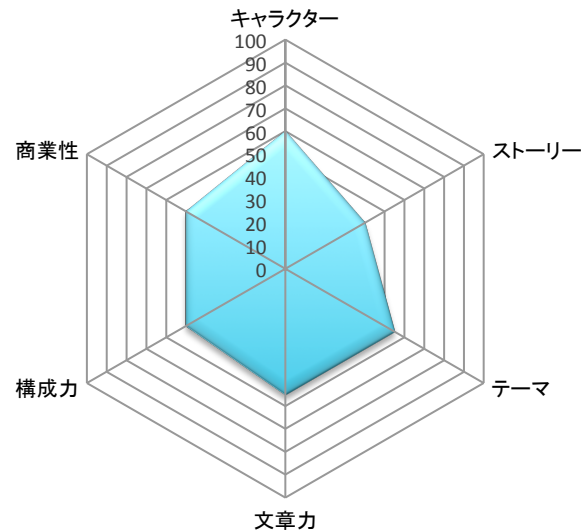
55

構成力

50

商業性

50



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・ストーリーなど知った事かと褐色巨乳ギャルの可愛いキャラクター性だけをとにかく全面に押し出して来たという印象。一般小説ならば0点に近いかもしれないがレイミのキャラクターを描くのが非常にという意味でライトノベルとしての点数は高い。ストーリーやプロットについては評価が低いというよりは無いので評価ができない。裸の人にセンスが無いとは言えないので……ただ、もしレイミを活かした起承転結のあるストーリーが描けていれば点数は更に高かったと思われる。せっかく主人公もいるのだから、巨乳にまつわるエピソードを通じて二人の心の距離に変化が出るようなエピソードが欲しい。

・文章はこの作品に限って言えば問題はないと思われる。主人公の馬鹿っぽい性格を表現するにあたってこの作品全体の文体自身が一つの演出となっているため、むしろ普通の日本語を書かないことがプラスに働いている。(ただし例えばヒロインがちょっと真面目系であった場合この文体であると爆死確定)

合計加点ポイント 0

総得点: 310 / 600

B方式総合得点: 16017 点